

2025

1

January

庄内農家の友

Vol.994 / R7.1.1



表紙写真コンクール入選 餅つき体験 工藤 省三郎さん（鶴岡市美原町）

Contents

- 🌾 稲作 P2-3 どんな天気でもブレない米づくりに向けて
- 🐖 畜産 P4-5 庄内グリーンポーク“ぶーみん”について
- 🏠 経営 P6-7 令和6年度山形県ベストアグリ賞 農林水産大臣賞受賞！株式会社 治五左衛門 代表取締役 石塚 寛一氏
日本で一番美味しいえだまめ「だだちゃ豆」を目指して一先祖代々受け継がれてきた種を守り、未来へつないでいく—



山形県農業総合研究センター
水田農業研究所

安藤 正

令和6年の稲作を振り返って

～どんな天気でもブレない米づくりに向けて～

令和6年は、高温条件下で品質の低下を招いた昨年の反省から気象条件に左右されない米づくりに努め、気温が高い中でも品質が保持されました。しかし、今年も天候の振り幅が大きく、大雨の影響などもあり、庄内地域全体としては収量の落ち込みが目立つ結果となりました。今年の稲作を振り返り、7年産の収量・品質・食味の高位安定に向けた万全の準備を今から始めましょう。

①はじめに

令和6年は、県全体のうち玄米の1等米比率（農林水産省、令和6年10月31日現在）が92・7%、全国順位4位であった一方、10アール当たりの収穫量（子実用）は県全体で583キログラム（前年589キログラム）、作況指数は97（同100）のやや不良、庄内地域は566キログラム（同582キログラム）、94（同99）となりました（東北農政局、令和6年12月10日発表）。7月25日の大雨に伴い冠水した圃場では収量が大幅に減少しましたが、大雨被害の無かった圃場でも伸び悩みました。ここでは、大雨被害を除き、生育を阻害し、収量を押し下げる原因がどこにあったか、今後どのように対処すべきか考えます。

②庄内地域の水稲生育と気象の特徴

(1) 育苗期（播種・移植期）

当所生育診断圃の乾土効果は並と推定されましたが、4月は例年と比較して著しく気温が高く推移しました。気温と日照が確保されたこともあり、当所では充実度の高い苗が得られましたが、現場では遮光管理下での苗質低下や苗の老化が指摘されました。

(2) 活着期・分けつ期

5月10日移植の当所の生育診断圃では、移植後の高温により活着は良好でしたが、5月20日からの低温少照で生育が停滞しました。6月6日以降気温が高くなり、生育が回復するにいたるが、当所作柄診断圃では茎数増加が加速し、最高分けつ期が例年より10日早まるという特徴的な生育を示しました。有効茎の確保を確保した6月20日に中干しを開始し、一定の効果（土壌表面に小ヒビができる）が得られましたが、6月23日の梅雨入り以降は雨天が多く、現場では中干しの効果が十分に得られない圃場も見受けられました。

(3) 幼穂形成期・穂孕期

6月中の高温により幼穂形成期が早まっていたことから、「はえぬき」で7月5日に幼形期追肥を行いました。したが、施用後も日照時間が少なく、多雨な状況が続きました。このため、追肥の効果は低下していることが懸念されました。

(4) 出穂・開花期

当所の出穂期は「はえぬき」が7月30日（平年差12日）、「雪若丸」が7月31日（同12日）、「つや姫」が8月7日（同11日）でした。

表1. 水稲生育診断圃の成績

品種名	年次	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m)	有効茎歩合 (%)	止葉数 (枚)	1穂粒数 (粒)	m当粒数 ×100	不稔歩合 (%)	精玄米重 (kg/a)	屑米重 (kg/a)	玄米千粒重 (g)	整粒歩合 (%)	玄米粗タンパク質含有率 (%)
はえぬき 標準	本年	7.30	9.04	75.4	17.4	578	74.8	12.9	61.1	354	5.7	64.6	3.6	21.1	79.1	7.50
	平年	8.01	9.11	69.4	17.5	533	81.4	12.3	59.6	317	3.8	59.8	4.3	22.0	75.3	7.30
	平年比・差	-2	-7	109	100	109	92	+0.6	102	112	+1.9	108	83	96	+3.8	+0.2
つや姫 特裁	本年	8.07	9.14	80.9	16.3	457	79.9	13.0	69.2	316	4.6	59.1	4.1	21.9	77.9	7.08
	6か年平均	8.08	9.20	72.9	17.4	489	80.4	12.8	66.5	326	6.4	56.0	6.3	21.9	76.7	7.13
	平均比・差	-1	-6	111	94	93	99	+0.2	104	97	-1.8	105	65	100	+1.2	-0.05
雪若丸 標準	本年	7.31	9.04	69.6	17.0	581	78.4	12.9	55.3	321	5.2	65.0	2.9	23.0	85.2	7.32
	平年	8.02	9.12	65.6	17.2	529	80.3	12.7	51.8	274	3.9	57.6	2.4	24.1	80.2	7.22
	平均比・差	-2	-8	106	99	110	98	+0.2	107	117	+1.3	113	121	96	+5.0	+0.1

稈長が長くなったのが今年の特徴で、品種によっては例年より倒伏程度が大きくなりました。

(5) 登熟期

出穂期以降、出穂開花期は気温が平年並でしたが、その後はやや高め、高めに推移し、特に最低気温が高い傾向にありました。また、日照時間は並より少なめでした。登熟の進展は早く、成熟期は平年に比べ6〜8日早く、登熟日数は5〜6日短くなりました。最終的な登熟歩合は3品種とも平年並でしたが、「はえぬき」、「雪若丸」で千粒重が例年より4%程度軽くなりました。

(2) 玄米品質、食味

いずれの品種も整粒歩合は高く、品質は保持されました。ただし、「はえぬき」では背白粒、基部未熟粒、「つや姫」では乳心白がわずかに認められるなど、高温の影響が見られました。また、玄米粗タンパク質含有率は3品種とも平年より高い傾向でした。

(1) 収量

当所の生育診断圃では、「はえぬき」、「雪若丸」は、m²当たり穂数が多く、それに伴いm²当たり籾数も多くなりました。「つや姫」は、m²当たり穂数、一穂籾数、m²当たり籾数とも指標並でした。10アール当たり精玄米重は「はえぬき」が64.6

(3) 収量、品質、食味の概況

昨年より多収を得ており、現場においても出穂期頃までは順調な生育との認識でしたが、振り返ると5月下旬の低温、梅雨時期の多雨、少照など生育障害、収量低下リスクが多く存在し、個々の圃場の条件、対応によって良否が分かれたと考

(4) 今年の栽培に向けて

昨年は当所生育診断圃では平年より多収を得ており、現場においても出穂期頃までは順調な生育との認識でしたが、振り返ると5月下旬の低温、梅雨時期の多雨、少照など生育障害、収量低下リスクが多く存在し、個々の圃場の条件、対応によって良否が分かれたと考

えられます。

(1) 初期生育の確保に向けた苗質の向上と適期移植

苗づくりをもう一度見直し、軟弱徒長苗にならないような温度、日射管理の改善を図りましょう。また、移植時期に適正な葉齢となるように、苗の生育速度に応じた播種、移植の日程管理に努めましょう。

(2) 適期中干し

効果的な中干しにより、茎数の制御と生育後半の稲体活力の維持に努めましょう。近年有効茎決定期は早まっており、乾土効果や気温によってさらには生育が加速されます。昨年も含め、中干し開始のタイミングは6月20日より早く到達しています。注意深く圃場を観察し、適期の適作業を徹底しましょう。

(3) 地力の向上

生育後半の稲体活力の維持には、地力の向上も不可欠です。土づくり(堆肥やケイ酸資材の投入)を継続して進めることで、生育後

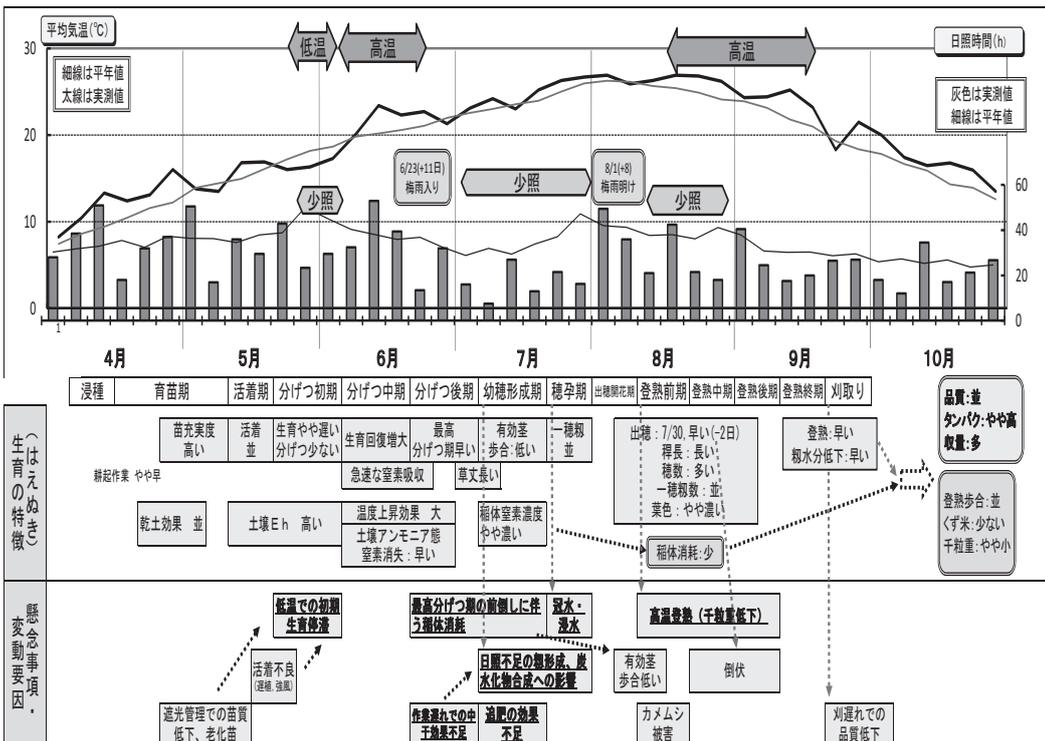
半も高温や天候不順に対して稲が持ち堪えることのできる環境づくりを行います。

これらの取り組みは、その年の気象条件がどうであれ、しっかりと実践すること

で生育の安定、収量・品質の高位安定に結びつきます。今年の稲作も収量・品質・食味を高いレベルで達成し、消費者に求められる米産地を高めたいきましょう。

令和6年度(2024)作柄要因図

山形県農業総合研究センター 水田農業研究所



庄内グリーンポーク “ぶーみん”について

JA全農山形 畜産部 畜産販売課 深山陽光

全農山形県本部が扱う庄内グリーンポーク「ぶーみん」についてご紹介いたします。

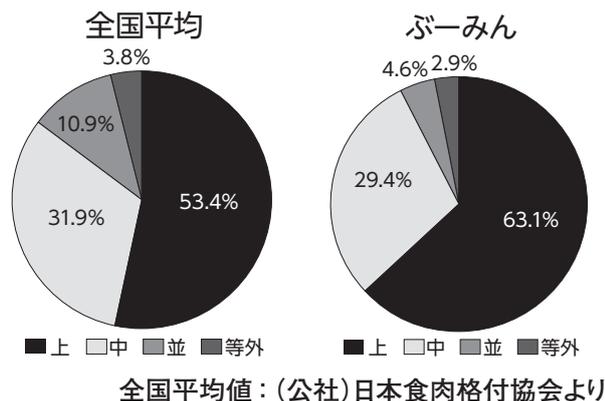
庄内グリーンポーク「ぶーみん」は、生産登録農家とJAならびにJA全農山形がそれぞれの立場において責任・機能を最大限に發揮し、SHONAI GREEN PORK BOOMIN / 庄内グリーンポーク「ぶーみん」(以下、「ぶーみん」)の差別化・ブランド化の推進・付加価値販売の拡大を図り、養豚農家の経営向上へ寄与することを目的に令和元年1月にスタートしました。

登録農家・JA・JA全農山形の三者による協定書を締結し、飼養管理基準にもとづき限定生産を行っています。また、愛称の「ぶーみん」は、「みんなのぶた」に由来しており、みんなが愛情をこめて育てた豚、みんなが「おいしい!!」と笑顔になる豚、みんなから親しまれ愛される豚になって欲しいとの願いが込められています。

ぶーみんの品種(または

交雑種交配様式)は、(ランドレース×大ヨークシャー)×デュロックとなっております。あつさりとした甘みのある脂肪と、やわらかく味わいのある赤身に仕上がっており、どんな料理にも合うのが特徴です。

また、大きな特徴として肉豚等級格付けにおける成績の優秀さが挙げられます。豚枝肉の格付けでは、枝肉重量と背脂肪の厚さによる等級の判定表によって該当する等級を判定し、次いで「外観」と「肉質」の各項目の条件によって等級が決め



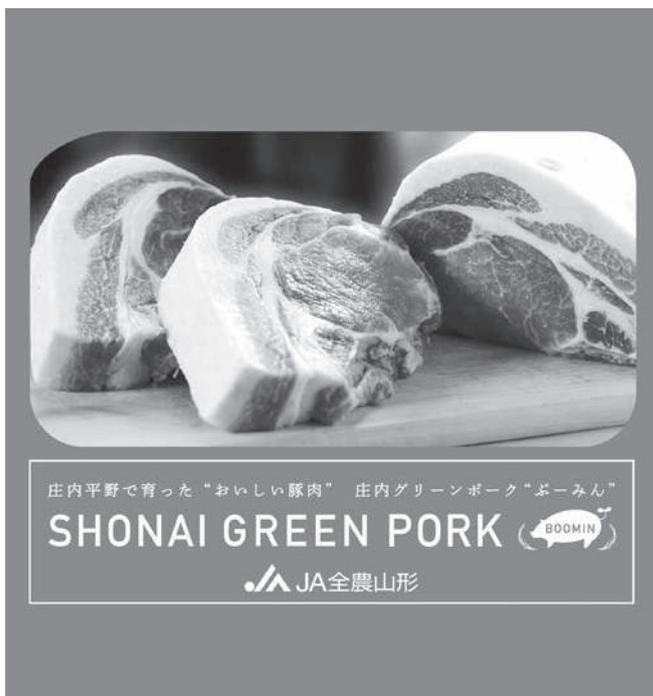
「ぶーみん」は庄内地区の
下記のお店で
お買い求めいただけます。

JAグループのお店

- Aコープ東日本各店舗
- JAあまるめ/Aコープあまるめ店
- JA鶴岡/もんとあ〜各店
- JA庄内たがわ/んめ農マルシェ

精肉店

- 鶴岡市 ○クックミート マルヤマ
- 小松精肉店
- 酒田市 ○肉・惣菜 小の木
- 遊佐町 ○マル三精肉店



られ「極上」、「上」、「中」、「並」、「等外」の5等級に格付けされます。

令和6年(4~10月)の実

績では、「上(極上を含む)」が全国平均53.4%に対し、「ぶーみん」は63.1%と大きく上回り、「中」等



「外」の格付は全国平均をい
ずれも下回っています。
これらは、日頃からの生
産者の技術の研鑽とJAG
グループが一体となって取り
組んだ結果であり、結果生
産者の手取り最大化につな
がっていると考えています。
豚枝肉の格付けでは、枝肉
重量と背脂肪の厚さによる
等級の判定表によって該当
する等級を判定し、次いで
「外観」と「肉質」の各項目の
条件によって等級が決めら
れ、「極上」、「上」、「中」、「並」、
「等外」の5等級に格付けさ
れます。
最後に、令和7年1月に
庄内地区「ぶーみん」取扱店
にて、新春感謝キャンペーン
企画の開催を予定してい
ます。
庄内地区へお帰り・お越
しの際は、是非ご購入いた
だき、新春感謝キャンペー
ンにご参加くださいますよ
うお願い申し上げます。

SHONAI GREEN PORK

BOOMIN

新春 庄内グリーンポークぶーみん 感謝キャンペーン

キャンペーン期間 令和7年1月1日(水・祝)～31日(金)

「ぶーみん」シールを貼ってご応募ください!

おいしい豚肉

いずれか1枚!

庄内平野で育った

応募しよう

シールを貼って

抽選で 100名様にいずれか一品プレゼント!

(賞品は選べません)※WAI(100%)

ぶーみんロール味噌漬 50名様

(約80g×5枚入り)

ぶーみん加工品詰合せ 50名様

(ウインナー・ホワイトモモ・生ハム、各1パック)

ぶーみんシールはいずれか1枚を貼ってご応募ください!

応募締切 令和7年1月31日(金) 当日消印有効

応募方法 専用応募ハガキまたは郵便ハガキに「庄内グリーンポークぶーみん」のシールを1枚貼り、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、商品購入店舗名をご記入のうえ、下記宛先までご応募ください。

※応募される際には、必要事項の漏れがないようにご記入ください。
※ご記入にもたがえるものは無効とさせていただきます。
※封入したご応募の封筒は必ず「おまかせ」の封筒に封入してください。
賞品の発送は1月31日(金)までに行われます。また第3者への提供はいたしません。(法令等により封筒を定められた場合を除く)

応募先 〒998-8691 酒田郵便局 私書箱17号 庄内グリーンポーク「ぶーみん」感謝キャンペーン係

当選発表 厳選なる抽選のうえ、当選者を決定し、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
【賞品発送予定日/令和7年2月下旬】

(キャンペーン実施店舗)
Aコープあつみ店/Aコープふじしま店/Aコープはぐろ店/Aコープあきり店/Aコープたちかわ店/Aコープゆき店/Aコープくら店/Aコープやわた店/Aコープにしき町店/Aコープあまめ店
クックミート マルヤマ/小松精肉店/肉・惣菜 小の木/マル三精肉店/もんとある 白山店/もんとある 駅前店/ぬめ農マルシェ

庄内グリーンポークぶーみん推進協議会 JA全農山形

令和6年度山形県ベストアグリ賞 農林水産大臣賞受賞!

株式会社 治五左衛門 代表取締役 石塚 寛一 氏

日本で一番美味しいえだまめ 「だだちゃ豆」を目指して

—先祖代々受け継がれてきた種^{たから}を守り、未来へつないでいく—

庄内総合支庁 農業技術普及課 熊谷 大 樹



写真1. 石塚氏と社員のみなさん

①受賞者の概要

(株)治五左衛門は、鶴岡市寺田地区において令和4年に設立した法人です(写真1)。えだまめ14鈴+水稲12鈴+ミニトマト、赤かぶ等野菜の経営を実践し、特にえだまめでは、地域平均を大きく上回る生産規模・単収・単価を実現しています。

個人・団体が受賞)と、併せて第1位である農林水産大臣賞を受賞されました(写真2)。

②特色ある活動

(1)生産と採種の二刀流により、複数系統の良食味「だだちゃ豆」を選抜
良食味だだちゃ豆を長期間出荷するため、開花期や



写真2. 吉村知事授与



写真3. 「常に美味しい」を追求しただだちゃ豆

草丈の違い、食味等を徹底的に分析し、取捨選択を繰り返しながら複数系統の選抜を行っています。これによって、常に美味しいだだちゃ豆の生産が実現しています(写真3)。



写真4. 高収量を確保するため支柱を設置

(2)だだちゃ豆の大規模・高収量・高単価生産により「稼げる農業」を実現
きめ細かな栽培管理を行うことで、鶴岡市において最大クラスのだだちゃ豆栽培

培面積でありながら、平均以上の高収量を確保していきます(写真4)。また、毎年継続して行っている取引先への挨拶回りや商談会等での情報提供により、取引先から信頼を得ることで高い直販率と高単価を安定して維持しています(写真5)。

(3)安全・安心なえだまめを生産するため「山形セレクション」認定を取得
平成21年にえだまめの



写真5. 商談会出店時の様子

(4)地域雇用の創出・担い手の育成の取組
地域住民や大学生を中心に、臨時雇用を50人程度活用しており、地域の雇用創出と活性化に貢献しています(写真7)。また、今年度から県事業を活用し、外国

「山形セレクション」認証を取得しました。鮮度低下を防ぐため青果物専用の鮮度保持フィルムを使用し、残留農薬検査を定期的に実施することで安全・安心なえだまめ生産を行っています(写真6)。



写真6. 鮮度保持フィルムで包装

(5)もちやパスタソース等の加工品販売による6次産業化の実践
生産したもち米、えだまめ、ミニトマト等を、もちやずんだ餡、パスタソースに加工(委託)しています。特に「寺田もち」はかつて庄

人労働者の短期雇用に取り組んでいます。さらに、令和4年度からは2名の研修生(鶴岡市立農業経営者育成学校・SEADS)を受け入れており、新規就農者育成に積極的に取り組んでいます。

(6)農業者と各分野の専門家の間でネットワークを構築し、経営改善を実践
令和3年6月に石塚氏が発起人の一人となり、農業者、流通・販売関係者、研

内藩主への献上餅とされた希少な商品であり、消費者からの人気も非常に高い商品です(写真8)。



写真7. 石塚氏と学生アルバイト



写真8. 人気商品の「寺田もち」

3 今後の発展方向
先祖代々継承されてきた

究者を参集した任意団体である「山形魅力農業ネットワーク」を設立しました。月1回の勉強会や意見交換会を開催し、経営管理能力のスキルアップを図ります(写真9)。



写真9. 定期的に開催する勉強会

種を次世代へ繋いでいくため、一人だけでなく地域全体で守り育てていく仕組みづくりを目指しています。また、だだちゃ豆を始め、庄内地域の農産物の美味しさを世界に広めることが目標であり、販路開拓を進めながら世界に庄内地域を売り込んでいこうと考えています(写真10)。



写真10. 外国人 Youtuber とのコラボ

庄内砂丘メロン研修大会2025

～ブランド価値の向上と高品質安定生産に向けて～

■日 時：令和7年2月5日(水) 13:30～15:45まで

■場 所：三川町子育て交流施設テオトル多目的ホール (東田川郡三川町大字押切新田字桜木8-1)

【内容①】『県の試験研究に係る状況報告』

山形県庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室

【内容②】『つる割病の発生状況と防除対策』

山形県病害虫防除所庄内支所 ほか

【内容③】『令和6年メロン市場動向の振り返り(仮題)』

大果大阪青果株式会社 本社果実部 執行役員部長 宮 重雄 氏

【内容④】『庄内砂丘砂防林における松枯れの現状と対策』

山形県庄内総合支庁産業経済部森林整備課

■申 込：1月27日(月)までお近くのJA園芸担当課にお申込みください。

主催：庄内砂丘メロン産地強化プロジェクト会議(0235-66-5519)



吸収力が違う! ラウンドアップだから

畦畔除草を省力化

刈り取り後、または田植え前の散布で! 繁忙期の除草作業が省けます!

刈り取り後の散布で
多くのメリット!

- ◎初夏(6月)までの長期防除が可能!
- ◎散布の翌春には、斑点米カメムシ、ネズミ穴が減少!!



前年・秋処理

前年・無処理

社内試験：山形県鶴岡市 水稲畦畔場面におけるラウンドアップマックスロード散布試験
10月13日ラウンドアップマックスロード500ml/10aをULV5を用いて散布。

斑点米カメムシ減少!

斑点米カメムシの春期生息場所となるイネ科雑草を長期間抑制します。

無処理区-幼成虫16匹
処理区は、0匹!

*試験：岩手県病害虫防除所 2回散布(2009年秋期、2010年夏期)
斑点米カメムシの発生調査(2010年9月1日、20回観3反復平均)



ネズミ穴が減る!

すでに多数のネズミ穴が開いている場合は、2年以上の運用をおすすめします。

無処理区より
-82%減少!

*試験：宮城県古川農業試験場(当社御貸)
秋期処理によるネズミ穴減少効果
2009年秋処理(2010年春に調査・試験規模20m×1m)

田植え前の散布で
長期防除が可能!

- ◎大柄な多年生雑草を根絶して夏以降の除草も楽に!



機械除草区

処理区

公的試験：滋賀県東近江市 水稲畦畔場面におけるラウンドアップマックスロード散布試験
4月21日ラウンドアップマックスロード500ml/10aをULV5を用いて散布。

朝露にも強い!

違いは
活性成分の吸収力!

朝露が付いた状態で散布した場合の効果[スギナ:処理35日後/枯殺率(%)]

過去のラウンドアップ 5%

ラウンドアップ マックスロード 80%

朝露が付いた状態の雑草に散布しても、確かな効果を発揮します。



ラウンドアップ マックスロード

試験方法 試験場所: 北海道札幌20年 試験草種: スギナ(高さ:40-50cm)
処理時期: 播種後30(約20日) 観 察 期: 播種後35日
*過去1981-1999年に実施していたラウンドアップとの比較。

日産化学株式会社

ラウンドアップ
お客様相談窓口 0120-209374

ホームページ ラウンドアップ 検索